

報道各位

TOKYO FM 開局 44 周年記念式典挨拶
(代表取締役社長 千代 勝美)
～2014年4月25日(金) 午前10時30分 TOKYO FM ホール～

株式会社エフエム東京は、2014年4月25日(金)午前10時30分より、TOKYO FM ホールにて、TOKYO FM 開局 44 周年記念式典を実施し、代表取締役社長・千代勝美が、以下の挨拶を述べました。

(開局記念日は4月26日ですが、本年度は休日にあたるため、1日早く4月25日に実施致しました)

◇代表取締役社長・千代 勝美 あいさつ◇

みなさん、おはようございます。

日頃大変お世話になっております広告会社の皆様、JFN 各局の皆様、グループ各社の皆様、本日はご臨席をいただき厚くお礼申し上げます。

開局記念日を祝うことの意義は、改めて原点に戻り、ゼロから苦難の道を切り開いていただいた諸先輩方や、ご協力・ご支援いただいた全ての皆様へ深く感謝するとともに、これからの未来のビジョンを思い描くことにあると思っています。当社の原点は、新たなるものへのたゆまぬ開発精神とチャレンジのくりかえしであります。

放送の世界では今日、テレビは4K/8Kの高画質化やスマートテレビなどに向かい、ラジオにおいてはAMのFM活用やradikoのエリアフリー化などの動きがありますが、世界を見渡すと、スマホやタブレットの急速な普及により、膨大な数のアプリが日々リリースされ、多彩な音楽サービスやTuneIn Radioでは世界8万局のインターネットラジオが配信されるなど、エリアの枠組みを突破してグローバルな規模で時代は進行し、そして競争環境もますます激化の一途を辿っています。

そのような中で、当社グループは従来とは違った、他に比類ない独自の考え方や発想で、新たな開発とチャレンジをしていかなければなりません。開局44年の伝統を守ることは大変大切なことですが、守っているだけでは次世代へ継ぐ伝統は創られず、やがて淘汰の道へと辿ります。

我々はメディア人として、もっと自由な発想と食欲さで、もっと世界最先端のものに触れ、世界レベルで新たな文化を生み出す志と気概をもって行動していきましょう。

外の世界は、凄まじいスピードで変化し続けています。従来の発想やセクショナリズムや、自己防衛の考えを一度脱ぎ捨てて、もっと心を自由にして、外の世界に目を向けて、堂々とそしてオープンに議論して、皆で連携して新しいイノベーションの風を起こしていきたいと思います。

V-Low マルチメディア放送も、単に映像番組や音声番組を送るという当り前の発想ではなく、安心・安全をはじめ、B to B や B to C サービスにおいて、放送と通信の区別を超えたハイブリッドな新しいサービスを追及し、新しいテクノロジーを融合させていくものです。

我々の事業は人材こそが資源であり財産です。ひとり一人の発想力と行動力と、成し遂げるたゆまない情熱が最大の資本です。皆さんひとり一人が、自由闊達でクリエイティブで、コンプライアンス重視の人材として、モチベーション高く、明るくオープンに連携して取り組んでいただきたいと思います。

当社グループは、スケールの大きなビジョンを描き、失敗を恐れることなく、志を高く、果敢にチャレンジしていく集団でありたいと願っています。経営もそうしたことが当たり前可能なように、会社の環境づくりに最善を尽くしていきます。

どうぞ、自由な心と自由な発想で、新しい放送文化を創り出すことへ、この開局記念日に、心新たに、皆さんと共に歩むことを切望して、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

以上